

## 愛知県再犯防止推進計画に基づく2025年度の取組【国・民間団体】

## 【愛知県再犯防止推進計画における6つの重点課題】

- I 国・民間団体等との連携強化
  - 1 国・民間団体等との連携強化
- II 就労・住居の確保
  - 1 就労の確保等
  - 2 住居の確保等
- III 保健医療・福祉サービスの利用の促進等
  - 1 高齢者又は障害のある者等への支援
  - 2 薬物依存を有する者への支援
- IV 非行の防止及び学校等と連携した修学支援等
  - 1 非行の防止及び学校等と連携した就学支援等
- V 犯罪をした者等の特性に応じた効果的な支援等
  - 1 犯罪をした者等の特性に応じた効果的な支援等
- VI 民間協力者の活動の促進、広報・啓発活動の推進等
  - 1 民間協力者の活動の促進等
  - 2 広報・啓発活動の推進等

| 関係機関・団体名 | 2025年度の取組                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名古屋地方検察庁 | <p>(I 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勾留中の被疑者に対する生活環境の調整等のその取組状況等について、愛知県地域生活定着支援センター、名古屋保護観察所、愛知県弁護士会と連携して定期的に会議を開催した。</li> <li>・名古屋市スポーツ市民局が主催する名古屋市立ち直り支援コーディネート機関運営事業報告会に年2回参加し、支援事例についての意見交換及び当庁入口支援の取組状況等の説明を行った。</li> <li>・愛知県内(名古屋市内含む。)の複数の社会福祉協議会を訪問し、当庁入口支援の業務説明及び連携強化に向けた打合せを実施した。</li> <li>・愛知県内(名古屋市内含む。)の生活困窮者自立相談支援機関を訪問し、当庁入口支援の業務説明及び連携強化に向けた打合せを実施した。</li> <li>・主に依存症からの立ち直りを支援しているワンネス財団に対して、ギャンブル依存が強く疑われる対象者を初めて受け入れてもらい、新たな支援先としての選択肢が広がった。</li> <li>・名古屋少年鑑別所(愛知法務少年支援センター)に、知能検査及び認知症スクリーニング検査を複数回依頼し、その結果、得られた対象者に係る検査結果を福祉関係機関につなげる際の貴重な資料として活用した。</li> <li>・精神疾患が疑われる被疑者を社会復帰支援をさせるに当たり、過去に精神医療機関を受診したことのない者については、愛知県精神医療センターと連携し、スクリーニング検査を受診できる体制を整えている。</li> </ul> |
| 中部矯正管区   | <p>(I 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国・民間団体等との連携強化のため、矯正官署における再犯防止、地域連携等の取組に係り、刑務所出所者等を雇用する事業主3名を講師としてセミナーを開催し、地域における再犯防止等のネットワーク構築を促進するとともに、広報・啓発を図った。</li> <li>また、各自治体における再犯防止に係る協議会への参加、社会を明るくする運動での講演等を実施した。</li> <li>加えて、矯正施設所在自治体の首長や職員等を招へいして、刑務所出所者等に対する支援の理解促進を図るための会議を実施した。</li> </ul> <p>(II 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・矯正就労支援情報センター室(コレワーク中部)において、事業主や経済団体等を対象としたスタディツアーを名古屋刑務所で実施したほか、愛知県内の地方自治体・ハローワーク・事業主等に対するコレワークによる広報及びセミナーを実施するなど、就労先の確保及び業種の拡充等のための働き掛けを実施した。</li> </ul> <p>(II 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>愛知県及び愛知県下自治体(名古屋市及び豊田市)の居住支援協議会に参加し、愛知県の同協議会では、再犯防止の推進に係る住居確保の必要性及び重要性について講演を行った。</li> </ul>                               |

|                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>中部矯正管区<br/>(続き)</p> | <p>(Ⅲ1)<br/>・ワークダイバーシティをテーマにした会議に参加し、高齢者・障がい者の雇用及び保健医療・福祉サービスの利用の促進について、県内行政機関と意見交換を実施した。</p> <p>(Ⅲ2)<br/>・薬物依存症回復支援団体等が開催する会議等に参加し、参加者と積極的に意見交換を実施するなど、関係機関等との連携を強化した。</p> <p>(Ⅴ1)<br/>・外国人に対する施策及び実務を所管する関係機関と意見交換を実施したほか、性の問題にアプローチする会議に参加するなど、個々の特性に関する課題等の知見を深めるとともに、今後の連携方法を検討した。</p> <p>(Ⅵ1)<br/>・愛知県が開催した「寄り添い弁護士制度」による社会復帰支援事業検討委員会への参加及び本制度の委託先である「愛知県弁護士会」と定期的に打合せを行い、効率的な支援を協働して実施するために制度及び実施要領を改定した。また、保護司会等からの依頼に基づき、近年の再犯防止施策に係る説明を実施し、民間協力者と連携強化を図った。</p> <p>(Ⅵ2)<br/>・当管区が中心となり、名古屋高等検察庁、中部地方更生保護委員会及び名古屋法務局と連携して、「特殊詐欺×若者」をテーマとした再犯防止シンポジウムを主催し、民間協力者を始めとする多くの方の参画を得た。<br/>また、再犯防止の広報・啓発活動を推進するため、ノベルティグッズ(手鏡・付せん・手提げカバン)を作成し、再犯防止に係る会議等で配布した。</p> |
| <p>中部地方更生保護委員会</p>     | <p>(Ⅰ1)<br/>・中部矯正管区、名古屋高等検察庁、名古屋法務局とともに 中部ブロック再犯防止シンポジウムを開催し、県内の再犯防止に取り組む民間事業者の支援の状況、関係機関の連携の必要性・重要性について広く発信した。</p> <p>(Ⅱ2)<br/>・矯正施設入所後の早い段階から調査・調整を行い、矯正施設・保護観察所等と連携し、入所者に帰住予定地設定に向けた助言・指導を行った。</p> <p>(Ⅲ1)<br/>・特別調整を必要とする矯正施設入所者が、早期に同調整の候補者となるよう矯正施設・保護観察所等と連携を図った。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>名古屋保護観察所</p>        | <p>(Ⅰ1)<br/>・地域福祉計画が令和7年度から同9年度に見直し又は策定予定の地方公共団体18か所及び地域福祉計画未策定の町村に対し、地区保護司会と連携して再犯防止推進計画策定に向けた働きかけを行った。<br/>・同7年度策定の市町村に対し、犯罪統計及び更生保護における取組等の情報提供や助言を行い、地方再犯防止推進計画の策定に協力した。<br/>・再犯防止に関する協議会に出席し、各地域の再犯防止が促進されるよう連携を図った。<br/>・保護観察や更生緊急保護対象者に加え、新たに開始された地域援助や刑執行終了者等に対する援助等、社会復帰に向けた各種支援が円滑に進むよう調整するとともに、息の長い支援の推進のため、新たに市町村や地域における支援機関・団体71か所とネットワークを構築した。</p> <p>(Ⅱ1)<br/>・更生保護就労支援事業を実施している愛知県就労支援事業者機構と連携し、刑務所出所者等に対して100件を超える就職活動支援を、また、130件を超える職場定着支援を実施した。さらに、保護観察及び更生緊急保護の期間が終了した者に対して、令和3年度から開始された愛知県の職場定着支援につなげることに努め、“息の長い”支援の取組を進めた。<br/>・新たに協力雇用主として登録した事業主に対する研修会を開催した。</p>                                                                           |

名古屋保護観察所  
(続き1)

- (Ⅱ2)
- ・令和5年度末現在から登録事業者が3者、自立準備ホームが7か所増え、令和7年3月1日現在で20事業者、52か所となったほか、収容可能定員も前年度から50人分増加した。
  - ・愛知県、愛知労働局及び当庁の三者で県下主要経済団体(愛知県経営者協会、愛知県商工会議所連合会、愛知中小企業家同友会、愛知県中小企業団体中央会、愛知県商工会連合会)に対し、協力雇用主登録拡大に向けた要請を行った。
  - ・愛知県、愛知労働局及び当庁の三者で協力雇用主登録拡大のためのセミナーを開催した。
- (Ⅱ2)
- ・愛知県住宅確保要配慮者居住支援協議会にオブザーバーとして参加するとともに、名古屋市住宅確保要配慮者居住支援協議会及び豊田市居住支援協議会に構成員として参加した。
  - ・令和7年度末現在で18事業者において48か所の自立準備ホームの登録がなされており、収容可能人員は209名となっている。また、新たに1事業者から登録希望を受け付けており、行き場のない刑務所出所者等の特性等に応じた住居確保がなされるよう、引き続き登録事業者数の増加に努めている。
- (Ⅲ1)
- ・名古屋地方検察庁から勾留中の生活環境の調整等の依頼があった被疑者又は、被告人(令和7年中は延べ36名)に対し、勾留中から帰宅先調整や福祉的支援の調整を実施するとともに、釈放後、更生緊急保護の申出を受けて、必要な支援(いわゆる入口支援)を愛知県地域生活定着支援センターと連携するなどして実施した。
  - ・令和7年度の心神喪失者等医療観察法による愛知県内の調査件数は10件であり、現在22名が同法の処遇下で地域生活を営んでいる。
- 対象者の地域処遇に際しては、入院中に策定された処遇の実施計画に基づいた生活が求められ、定期的な訪問等による精神保健観察と、「医療」及び「援助」の効果の評価を行うケア会議を実施している。このケア会議には、対象者本人を始め、保護者等の近親者、本法の通院医療を行う指定通院医療機関、対象者に係る行政機関、援助を実施する福祉サービス事業所等に出席を依頼し、対象者への「医療」及び「援助」についての情報を出席機関間で共有した上で、処遇の実施計画の立案並びに見直しを実施している。また、本制度の理解と関係機関との連携強化を目的として制度説明会等を実施しており、本年度は、医療機関を始め、行政機関及び福祉サービス事業所を対象に49回実施した。
- (Ⅲ2)
- ・県内の薬物問題支援機関担当者の協力を得ながら、刑事処分により保護観察を受けている者に対し、集団処遇による薬物再乱用防止プログラムを198回実施した。
  - ・18歳以上の保護観察処分少年及び少年院仮退院者に対し、薬物再乱用防止プログラムを個別で59回実施した。
- ・集団処遇による薬物再乱用防止プログラムに協力を得ている医療機関、行政機関などに6名の保護観察対象者を通院等指示によりつないだ。任意で県内の医療機関など通院、通所している者もあり、保護観察期間満了後も依存からの回復のために関係機関を利用する者が増えつつある。
  - ・矯正施設入所中又は保護観察を受けている薬物依存当事者の家族を集めて、引受人会を6回開催し、薬物依存症を専門とする医師、心理療法士などの専門職種のほか、ダルクや行政機関の担当者などを講師に招き、薬物事犯者の引受人や家族に対し、薬物依存に対する解説や県内の利用可能な社会資源の情報提供を行った。
  - ・お互いの悩みや不安を分かち合うことを目的として、保護司が運営している薬物当事者の家族が集まる会に12回協力した。

名古屋保護観察所  
(続き2)

- (IV1)
- ・愛知県教育委員会において行っている、「若者・外国人未来応援事業」と連携し、「若者未来応援協議会合同協議会」にオブザーバーとして参加し、同事業の委託先等に、保護観察所の取組について説明や協力を依頼するなどして連携を深め、高卒認定試験合格などを目指す保護観察対象者3名が、「若者・外国人未来塾」に参加した。
- (V1)
- ・(性犯罪)刑事処分により保護観察を受けている者に対し、集団処遇による性犯罪再犯防止プログラムを25回実施し、愛知県内における性依存症を治療する医療機関のほか、自助グループなどの情報提供を行っており、プログラム終了後も医療機関に通院してプログラムに継続参加する保護観察対象者も増えつつある。
  - ・18歳以上の保護観察処分少年及び少年院仮退院者に対し、性犯罪再犯防止プログラムを個別で49回実施した。
  - ・(ストーカー)ストーカーに認定した者のうち特異動向が認められた保護観察対象者等がいた場合は、愛知県警や所管警察署と連携を図り、再発防止に努めることとしている。
  - ・(少年の保護者への支援)引き続き、非行少年の親子関係改善のため、定期的に外部講師による支援を行っており、令和6年度は9回実施した。
- (VI1)
- ・保護司適任者確保のため、保護司候補者検討協議会が7保護区保護司会で延べ11回、保護司活動インターンシップが6保護区保護司会で延べ12回それぞれ開催された。
  - ・全3回開催した保護区保護司会代表者協議会で、保護司会等に対し、保護司適任者確保のための取組の実施を促した。
  - ・機関紙「あいち更生保護」(年4回発行)において、取組状況の紹介や適任者確保に必要と考えられる情報を提供した。
  - ・更生保護サポートセンターの円滑な運営について、随時助言した。
  - ・更生保護女性会及びBBS会の新会員に対し、更生保護への理解を深めるための研修を各々1回実施した。
  - ・愛知県保護司会連合会等更生保護関係団体とともに、保護司を始めとする、更生保護功労者に対する顕彰等を行う愛知県更生保護大会を開催した。
- (VI2)
- ・“社会を明るくする運動”県推進委員会の取組として、以下を実施した。
  - ・愛知県庁、名古屋市役所、名古屋法務合同庁舎に本運動を記した看板を掲出した。
  - ・名古屋市営地下鉄、金融機関、公共施設等に本運動ポスターを掲出した。
  - ・バンテリンドームナゴヤで行われた中日ドラゴンズ公式試合開始前に、電光掲示板を用いて本運動に係る広報を実施した他、懸垂幕を掲出した。
  - ・名古屋グランパスの選手2名の出演協力により、“社会を明るくする運動”広報CM動画を作成した。作成した動画は、名古屋市営地下鉄名古屋駅・栄駅チカビジョン、豊橋駅カルミアビジョンで放映した。総放映回数14,377回。
  - ・豊田スタジアムで行われた名古屋グランパス公式試合前にスタジアム入口付近で広報啓発活動を実施した。スタジアム内では電光掲示板を用いて上記CM動画を放映した。
  - ・豊田保護区保護司会の協力を得て、みよし矯正展で広報活動を実施した。
  - ・愛知県内の小・中学校を対象に本運動作文コンテストを実施し、応募作品は合計10,536作品にのぼった。

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 愛知労働局  | <p>(Ⅱ1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回相談<br/>原則、毎月第3木曜日13:00～15:00に名古屋保護観察所庁舎内面接室にて実施<br/>令和7年度は12回実施(保護観察官面談17件(職業相談含む))</li> <li>・駐在支援<br/>原則、毎週水・木曜日9:30～16:00に名古屋刑務所分類審議室及び教室にて実施<br/>令和7年度は57回実施(名古屋刑務所45回、愛知少年院12回)</li> <li>・包括的支援連携会議<br/>名古屋刑務所にて2回実施</li> <li>・名古屋刑務所就労支援フェスタ<br/>連携を図っている名古屋刑務所が実施したフェスタに、関係職員を見学のため派遣<br/>(1) 令和7年6月27日(金)<br/>参加企業4社、参加受刑者53名<br/>派遣職員4名(ハローワーク豊田2名、労働局2名)<br/>(2) 令和7年11月28日(金)<br/>参加企業4社、参加受刑者43名<br/>派遣職員3名(ハローワーク豊田1名、労働局2名)</li> <li>・令和7年6月12日(木)愛知労働局長による名古屋刑務所視察<br/>参加者8名(労働局5名、管轄HW豊田3名)</li> <li>・愛知県副知事、名古屋保護観察所長、愛知労働局長の連名による県内経済5団体に対する協力雇用主登録拡大に向けた要請を実施。</li> <li>・県主催:協力雇用主登録拡大に向けたセミナーへの連携協力(セミナー講師として、HW職員を派遣。)</li> <li>・県主催:県下経済団体による名古屋刑務所視察への連携協力(当局対象課職員も計5回視察に対し4回同行)</li> </ul> <p>(Ⅱ2) 福祉機関と連携強化のため、意見交換会を2回開催した。<br/>(Ⅳ1) 質の高い支援を実施するための職員研修を2回実施した。<br/>・令和7年10月27日、日本財団職親プロジェクト愛知県支部発足に伴う事前研修会にHW所及び労働局職員13名参加。<br/>・令和8年3月10日、日本財団職親プロジェクト愛知県支部連絡会議にHW2所及び労働局職員4名参加。</p> |
| 名古屋刑務所 | <p>(Ⅰ1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療重点施設として、医療関係機関との連絡協議会を開催し、関係機関や民間団体等との連携を進めている。</li> <li>・愛知労働局からの施設参観を端緒として、愛知県経営者協会からの施設参観をスタディツアーとして位置づけその後、官民合同の同ツアーを4回実施した。</li> </ul> <p>(Ⅱ1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力雇用主を招へいした就労支援フェスタ及び職親プロジェクト参加企業を招へいした仕事フォーラムをそれぞれ1回実施するとともに、実施時には行政機関等を来賓として招へいし、多職種が連携した就労支援について、意見交換を行って理解を深めた。また、同催事に、参加した多数の受刑者に対して、出所後の就労について考えさせる機会を付与した。</li> <li>・2019年「愛知県農福連携相談窓口」が開設され、福祉事業所等による農業参入が始まったことに伴い、障害を有する受刑者について、就業を含めた受入先の拡充を目的として、農福連携意見交換会を実施した。<br/>受刑中に採用内定を得た出所者を雇用した企業に対し、対象者の就業状況を追跡調査することとし、3か月後には就労支援担当職員を中心に施設職員が企業訪問の上、採用担当者と面談を行った。その際、聴取した意見を、出所を控える受刑者の指導に反映させ、在所中から出所後の生活を意識させる指導を実施した。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                     |

|                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>名古屋刑務所<br/>(続き)</p> | <p>(Ⅱ2)<br/>・帰住地がなく、自立困難な受刑者に対し、令和7年度において、特別調整を37件、独自調整を16件実施し、支援団体提供賃貸住宅、障害者施設、高齢者施設、自立準備ホーム等の帰住先を確保した。<br/>受刑者の社会復帰指導の際、居住支援法人を講師として招へいし、居住支援の知識を持たない受刑者に帰住先の確保に関する知識を付与した。</p> <p>(Ⅲ1)<br/>・高齢や障害のため、何らかの支援を要するものと考えられる受刑者について、対象者の資質を調査する担当者、就労や福祉支援を担う担当者、直接の処遇に携わる担当者が参加する支援会議を行って支援の可否を検討した。これに医療従事者を加えたケース会議も実施して、多職種による情報共有を図ることで、対象者に対してより有効な支援を検討・構築した。<br/>・釈放時、心身の状況等により、帰住調整した受入先や公的支援等の必要手続を執るために出頭を調整した公務所等へ自力で赴くことが困難な支援対象者については、先方施設へ連絡を入れ、ケース担当者等が同行の上、官用車を使用して乗車保護を実施した。</p> <p>(Ⅲ2)<br/>・依存症回復処遇課程や薬物依存離脱指導に編入された対象者に対し、担当部署を超えて適性のある職員を指導担当者として選定し、加えて、民間協力者にも協力を求め、薬物使用が及ぼす心身への影響に対する理解や断薬への動機付けを図るなど、有効な指導を行った。</p> |
| <p>豊橋刑務支所</p>          | <p>(Ⅰ1)<br/>・拘禁刑に移行した刑務所の現状や、支援が必要な受刑者及び出所者の現状及び支援時の困難点・疑問点を共有して支援体制を強化するため、刑務所所在自治体(豊橋市)、地域の福祉関係機関や弁護士等との意見交換会を3回実施した。</p> <p>(Ⅱ1)<br/>・就労支援対象者に対して、ハローワーク職員による職業相談を月1回実施し、就労先の確保に努めた。</p> <p>(Ⅱ2)<br/>・多様な団体やケースワーク等と協力して帰住地の確保及び出所後の支援に努め、年1回ではあるものの、出所前に帰住先施設へ受刑者本人を訪問させることで、双方の不安の軽減を図った。また、乗車保護も実施することで、切れ目のない細やかな支援の実施を図った。</p> <p>(Ⅲ2)<br/>・自助グループと連携して薬物依存離脱指導を実施する等、指導内容の充実を図るとともに、自助グループへ当支所職員を派遣して講演を行う等関係機関との連携強化を図った。</p> <p>(Ⅴ1)<br/>・刑務所所在自治体(豊橋市)及び刑務所近隣の福祉関係機関と協力してチームを組み、高齢、福祉、障害の特性を持つ受刑者に対して3か月間に全12回のプログラムを実施した。</p> <p>(Ⅵ1)<br/>・寄り添い弁護士制度を使用し、債務整理等の受刑者が抱える様々な問題の解決のための専門的な支援を実施した。</p>                             |

- (Ⅰ 1)  
 ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第26条に基づく通報において、同法27条に基づく指定医による診察に係る打合せを県の保健所と1回実施し、同法第29条に基づく措置入院に係る打合せを県の保健所、民間精神科病院、地元警察署と合わせて3回行った。同法第27条による自傷・他害の可能性が高い対象者の診察や移送時の課題について、はじめは各関係機関での意見の違い等があったが、打合せを重ねることで、円滑に対象者を入院先の病院へ移送した。  
 また打合せを重ねることにより、当所や関係機関相互の役割や立場について理解を深めるとともに連携強化を図った。
- (Ⅱ 1)  
 ・ハローワーク担当者との面談を継続的に実施するとともに、2月に開催されたメタバース仕事フォーラムでは、複数の企業担当者からの企業説明や質疑応答等の機会を設けることにより、受刑者の就労意欲を喚起するとともに、各協力雇用主の実情を詳しく把握した。
- (Ⅱ 2)  
 ・出所者のうち、帰住予定地がなく支援を希望する対象者については、居住支援法人や福祉関係機関と連携、または事前の更生緊急保護制度を利用し、全ての対象者の住居を確保した。
- (Ⅲ 1)  
 ・精神障害を有する受刑者に対する釈放後の福祉支援においては、釈放後、社会生活に適応できず、すぐに犯罪をしてしまうなど、困難な事例もあることを踏まえ、支援者を支援できる重層的支援体制を活用し、対象者の地域生活を支えるための他機関連携による地域支援ネットワークを構築する取組を行った。  
 具体的には、福祉専門官が重層的支援体制等の支援会議に16回出席し、その支援会議での意向により、在所中に精神障害を有する受刑者を受入れ先のグループホームへ外出させた。その際には、福祉関係機関と対象者を含めた支援会議を受入れ先のグループホームで開催するなど、新たな取組を実施した。
- (Ⅲ 2)  
 ・薬物事犯者に対しては、心理士によるカウンセリングや自助団体(名古屋ダルク、三河ダルク)とのミーティングなど、個別指導、集団指導など対象者の特性に応じた指導を5回実施した。
- (Ⅴ 1)  
 ・精神障害を有する対象者に対して、所内の多職種による生活指導や作業療法、心理教育等を実施した。具体的には、対象者のプログラム参加に対する忌避感を下げる等の目的で、年4回、講師を招いて、同対象者に対しマインドフルネスを実施した。その後、週に4回程度、10分間の動画視聴によるマインドフルネスを継続的に実施した。  
 また、釈放後の生活をイメージしてもらうため、障害福祉サービスに係る動画などを活用した。
- (Ⅵ 1)  
 ・改善指導では、自助団体(名古屋ダルク、三河ダルク)、就労支援においては、協力雇用主等との連携を強化する取組を行った。
- (Ⅵ 2)  
 ・11月、当所において行われた矯正展では、来客者を対象に地域における再犯防止の取組を紹介する機会を設けた。  
 また、市民活動団体によるイベントに2回参加し、刑務所作業製品の即売会や、受刑者の社会復帰支援、再犯防止に係る取組の広報活動を実施した。

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名古屋拘置所 | <p>(Ⅰ 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入口支援対象者に対し、検察庁からの協力等依頼書に基づき、面会、窓口差入及び窓口宅下げ等について、配慮を行った。更生緊急保護の円滑な実施のため、要件に該当し希望する被収容者については確実に保護カード等を交付するとともに、地域生活定着支援センター等関係機関と密に連絡を行い、円滑な社会復帰につなげた。</li> </ul> <p>(Ⅱ 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨今の社会情勢の変化や公共職業安定所、コレワークから収集した情報に基づいて予測した雇用状況に基づき、就労継続の重要性を説くとともに、健全な就労生活に対する動機付けを行った。(令和7年度中支援対象者11名、雇用主面接1件、受刑中内定1件、就労支援に係る面接101件)</li> </ul> <p>(Ⅱ 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活定着支援センターや身柄拘束直前に入居していた自立準備ホーム等のみならず、各地域の保健所や市役所といった関係機関と調整を密にし、帰住先確保のための連携強化を図った。</li> </ul> <p>(Ⅲ 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢又は障害のある者等への支援について、当所に保護上移送されたものの釈放に当たり、地域生活定着支援センター等と移送元施設との連携を密にし、円滑に福祉支援等に引き継いだ。</li> </ul> <p>(Ⅲ 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬物事犯者に対する指導において、自助グループ等と連携をとり、切れ目のない支援に努めた。</li> </ul> <p>(Ⅴ 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拘禁刑の創設や令和7年11月に行われた中部矯正管区調査センターの名古屋拘置所への機能移転に伴い、受刑者個々の特性等に応じた効果的な支援を検討するための精密なアセスメントを実施した。<br/>(令和7年度中の調査センターにおけるアセスメント92件)</li> <li>・各種改善指導における個別指導及びグループワークについて、専門家の知見等を活用して、その精度を高め、当該指導の充実化を図った。</li> </ul> |
| 瀬戸少年院  | <p>(Ⅰ 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮退院後の支援を得られる団体との関係構築のため、施設参観や意見交換会を開催し、連携を強化した。また、年間を通じて、所在自治体や地元町内会と連携し、年間11回の保育園や福祉施設等での清掃活動等を実施した。</li> </ul> <p>(Ⅱ 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワークとの連携を図り、23名を就労支援対象者として選定し、うち10名が内定を得た。また、ハローワークの見学を定期的に行い、出院後の利用方法について指導を受けた。さらに、出院後の就業状況が悪く、雇用主からの相談があった際には、当院職員が面談に赴くなど、早期での問題解決に努めた。</li> </ul> <p>(Ⅱ 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の下への帰住が困難な在院者について、更生保護施設2名、福祉施設2名、住込み就労先5名の帰住調整を行った。</li> </ul> <p>(Ⅲ 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院後の早い段階で福祉専門官及び社会福祉士が面接を行い、その後の福祉的な支援の必要性を見立て、必要に応じて各種手帳の取得や医療機関、自助団体等の関係機関につないだ。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |



|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>瀬戸少年院<br/>(続き)</p> | <p>(Ⅲ2)<br/>・自助グループの協力を得て、院内での指導の充実強化を図り、出院後も同グループ等の社会資源に円滑につながるよう支援した。また、出院後、薬物依存者を専門的に治療する医療機関につなげる情報提供も行った。</p> <p>(Ⅳ1)<br/>・高等学校卒業程度認定試験の受験指導を実施し、年間16名が受験した。また、進学希望者には修学支援デスクを通じて進学に関する情報を提供した。通信制高等学校に在籍する在院者に対しては、在院中も継続できるよう、在籍高校の教員との情報交換を行い高等学校の教育機会の付与に努めた。</p> <p>(Ⅴ1)<br/>・社会復帰支援会議において対象者の特性を鑑みてリフレクティング技法を用いたほか、リフレクティング技法を用いた指導を広く取り入れるため、職員研修により準備を進めた。施設内の職員で個別担任を中心とした小規模なものから、関連機関との連携等を踏まえた複数の関係者で実施する大規模なものまでの社会復帰支援会議をこまめに行い、対象者の特性に応じた地域援助の情報共有や生活設計の確認を行った。在院者と保護者との関係性の在り様が課題となる者については、長時間面会等を設定し、親子間の葛藤の解消を図った。</p> <p>(Ⅵ1)<br/>・大学や福祉機関、保護団体等の施設参観を積極的に実施し、年間52件(799名)を受け入れ、矯正行政や再犯防止に関する活動の理解の促進を図るとともに、各団体との連携の強化を図った。</p> <p>(Ⅵ2)<br/>・在院者が作成した製品を年間4回に渡り矯正展等において販売し、少年院の教育活動への理解の促進を図った。</p>                                                                                                                                                               |
| <p>愛知少年院</p>          | <p>(Ⅰ1)<br/>・社会復帰支援の一環として取り組んでいるソフトランディングモデル事業において、NPO法人与当院の間で「双方職員の交流研修」を定期的の実施し、相互の交流を一層促進するとともに、双方が学び合う機会を拡充することで、継続的な関係構築を推進した。</p> <p>(Ⅱ1)<br/>・就労の確保に当たっては、本人の意向を尊重しつつ、在院中から採用面接を進めた。また、在院中に就職が決定した者については、ソフトランディングモデル事業の一環として在院者を外出させ、雇用主、保護者、保護観察官等の関係者と顔の見える関係の構築に努め、支援者間での情報共有を図った。その上で、就労支援を行った者の職場定着率を上げる取組として、退院者等からの相談制度を積極的に周知し、雇用主及び保護観察官等から相談があったときには往訪する等して相談に応じる等、就労の確保のみならず、社会に定着できるよう取り組んだ。</p> <p>(Ⅱ2)<br/>・住居の確保については、保護者以外の帰住先を設定する事情があり、かつ、更生保護施設、職親プロジェクト企業や身元引受け就労等での引受けがなされなかった1件について、愛知県地域生活定着支援センターの出口支援を受けながら、上記(Ⅰ1)において、関係構築を進めてきたグループホームへの帰住に至った。また、ソフトランディングモデル事業を活用し、当該在院者が出院する前に外出し、同グループホームを見学する機会を設けることで、円滑な社会復帰を図った。</p> <p>(Ⅲ1)<br/>・精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳の取得・更新に係る支援を行うとともに、障害者グループホームへ帰住する者に対しては、在院中に見学を実施し、円滑な社会復帰を促進した。</p> <p>(Ⅲ2)<br/>従前に引き続き、近隣のダルク職員から薬物非行防止に係る各種指導への協力を得た。また、双方職員による交流研修を実施するなど良好な関係を継続的に維持することにより、在院者のダルクへの帰住及びその調整を行った。</p> |

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>愛知少年院<br/>(続き)</p> | <p>(IV1)<br/>・通信制の学校に在籍する在院者に対しては、施設内で通信環境を整えた上で、同校と連携しながら学習支援を実施した。</p> <p>(V1)<br/>・出院が近い在院者が、社会において想定し得る危機場面に備えた行動計画(クライシスプラン)を職員とともに作成するプログラムを開始した。当該計画は、作成後も継続的に更新し、支援者に説明・共有する等活用することで、在院者の自己理解の深化を図るとともに、支援者と協働した社会復帰に向けた取組を推進した。</p> <p>(VI1)<br/>・在院者の個別の生活上の課題に対応するため、寄り添い弁護士制度を活用するなど、生活再建に向けた支援を行った。また、帰住調整が難航する在院者に対しては、民間協力者を含む関係者によるケース会議を実施し、在院中から支援体制の構築を図ることで、地域における支援の輪の拡大(セーフティネットの構築)を推進した。</p> <p>(VI2) 広報・啓発活動の推進<br/>・再犯防止を推進するため、地域住民やNPO法人等の参観機会の確保、法務省専門職員体験プログラムの受入れ、学生からの質問等への対応、矯正展への出展、マスコミを通じた教育活動の広報など、多様な広報・啓発活動を実施した。</p>                                                                                                                     |
| <p>名古屋少年鑑別所</p>       | <p>(III1)<br/>・保護処分あるいは刑事処分歴があつて、高齢又は障害のため、福祉支援を受けている者に対して、福祉施設等からの依頼に基づいて計21件の心理相談の支援を実施した。<br/>・保健医療・福祉サービスに関わる児童相談所、地域の重層的支援に携わる部局からの依頼に基づき、子どもの理解や支援についての講演を計2件実施し、関係機関と連携強化を図った。</p> <p>(IV1)<br/>・学校及び教育委員会からの依頼に基づき、非行等の問題行動のある児童生徒に対する心理相談や法教育等の支援を計166回実施した。<br/>・学校からの依頼に基づき、高校生を対象に、薬物非行やSNSを巡るトラブルの防止をテーマとした法教育の出前授業を計4件実施した。<br/>・学校又は教育委員会からの依頼に基づき、学校教員やスクールカウンセラーといった専門職を対象に、生徒の問題行動の理解や対応をテーマとした講演を計5件実施した。</p> <p>(V1)<br/>・保護観察所からの依頼を受けて、発達に偏りのある保護観察対象者に対し、その特性に応じた支援を計25回実施した。<br/>・元受刑者から個別に相談を受け、心理支援を1回実施した。<br/>・保護観察所からの依頼を受け、保護観察中の少年を雇用し、雇用期間中の指導及び心理支援を46件実施した。</p> <p>(VI2)<br/>・更生保護女性会や警察少年補導委員会等の関係機関、民間協力者等に対して少年非行の現状や対応に関する講義を計13件実施した。</p> |
| <p>愛知県弁護士会</p>        | <p>(V1)<br/>・よりよい弁護士制度を継続実施している。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>愛知県社会福祉士会</p>      | <p>(V1)<br/>・6月22日(日)実施の定時社員総会後に行う会員・非会員・一般県民向けの公開研修会において、今期は、「社会福祉士として取り組む罪に問われた人たちへの支援～愛知県における出口支援・入口支援から学ぶ～」をテーマに開催し、約100名の参加者を得て、好評裡に終わった。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 愛知県更生保護協会   | <p>(VI1)<br/>・2024年に設置した愛知県更生保護センターを核として、更生保護団体と連携を図るとともに、引き続きそれらの団体の活動支援として助成を行った。</p> <p>(VI2)<br/>・「社会を明るくする運動」愛知県推進委員会へ助成を行い、県内啓発行事に複数参加した。</p> <p>(VI2)<br/>・機関紙「あいち更生保護」を年4回発行し更生保護関係者及び賛助会員に配布し、機関紙の発行を通じて広報活動を行い、更生保護についての理解促進を図った。</p>                                                                                                                                                                                                                                            |
| 愛知県保護司会連合会  | <p>(I1)<br/>・再犯防止に資する事業等を行っている機関・団体等からの要請に基づき、会長・副会長が各機関・団体の協議会構成員となり連携を図っている。また、更生保護関係団体との連携を密にしている。</p> <p>・引き続き、各種会議・研修を通して関係機関団体との連携強化に努めている。</p> <p>(VI2)<br/>・「社会を明るくする運動」愛知県推進委員会へ助成を行い、県内啓発行事に複数回参加した。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 愛知県更生保護事業連盟 | <p>(II2)<br/>県下にある更生保護施設6か所の施設長連絡会 年1回(5/21)開催した。<br/>県下にある更生保護施設6か所の補導員研修会 年1回(11/7)開催した。<br/>県下にある更生保護施設6か所の能力強化研修会 年1回(1/15)開催した。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 愛知県更生保護女性連盟 | <p>(IV1)<br/>【子育て支援】<br/>・日本福祉大学の学生とクリスマス会を開催した。<br/>10月から数回打ち合わせをして当日のクリスマス会に親子でたくさんの方たちが参加し、楽しいクリスマス会ができた。</p> <p>【研修会】<br/>・年9回講師をお招きし会員の資質向上を計り今後の活動の輪を広げた。</p> <p>【施設見学】<br/>・福井刑務所訪問会員30名で参加<br/>・立ち直りのため、作業等に頑張っている姿を見て、聞いて、支援が必要な現状を知った。<br/>・受刑者の方たち作る製品を会員は購買欲を沸き立て商品が無くなりました。(立ち直り支援)<br/>・愛知県連では今年度も社会を明るくする運動に参加し啓発活動を行います。名古屋刑務所において、薬物(ダメ絶対)再犯防止運動などの啓発活動を実施します。</p>                                                                                                        |
| 愛知県BBS連盟    | <p>(IV1)<br/>【研さん活動】<br/>・会員のスキルアップと情報共有のため以下の活動を行った。<br/>総会 1回、運営委員会 3回、地区会代表者会議 1回<br/>新人会員研修会 1回、会員交流会 1回<br/>・中部地方BBS連盟が主催する「会員研修会」「東海ブロック研修会」「ヤングセミナー」、日本BBS連盟が開催する「中央会員研修会」「学生会員研修会」に参加した。</p> <p>【グループワークの開催】<br/>・複数の少年とBBS会員がグループになって、ともに楽しみ、コミュニケーションをとることで心の居場所を作り、再犯防止に繋げることを目的に各地区会が開催した。<br/>豊田市 ブラインドボクシング体験<br/>安城市 ボッチャ大会<br/>常滑市 そば打ち体験<br/>名古屋南地区 料理・ボードゲーム交流</p> <p>【更生保護施設が開催する行事に参加】<br/>・更生保護施設の少年、更生保護女性会、BBS会員でグループになり地域を歩いてゴミ拾いをする。3～4回<br/>・クリスマス会、餅つき大会に参加</p> |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 愛知県就労支援事業者機構    | <p>(Ⅱ1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護観察等の期間中に限られる国の職場定着支援を、保護観察等終了後はこれを引き継ぎ実施する「令和7年度刑務所出所者等職場定着支援事業」を愛知県から受託し、協力雇用主のもとで就労する刑務所出所者等に対し、協力雇用主と被雇用者の双方に寄り添い伴走する職場定着支援を行った。支援した刑務所出所者等は38人、支援回数は263回で、協力雇用主は30事業者、支援回数は184回を数えた。その結果、支援を終了した者の約8割が6か月を超えて職場に定着(本事業を開始(令和3年度)してから最大値)する効果が認められた。なお、支援終了3か月後の在籍状況調査では、職場に定着している者の割合が8割以上を数えた。</li> <li>・また、本事業により、協力雇用主等が刑務所出所者等の雇用に係る工夫や課題の情報を交換する会議を地域及び業種に分けて計3回開催し、54人の参加を得た。「他の協力雇用主の意見や経験談を聞き参考になった」等の理由で、参加者の9割以上から、参加してよかったとの感想が寄せられた。</li> </ul> <p>さらに、保護観察中ではないが犯罪歴があることで就労に支障を来して名古屋保護観察所に援助を申し出た者(「刑執行終了者等に対する援助」又は「地域援助」という。)に対し同保護観察所が行う援助のうち、緊急性のある就労支援に協力した。</p> <p>(Ⅱ2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋保護観察所等と連携を図りながら、住居付き雇い入れが可能な協力雇用主の拡充に取り組むとともに、自立退所を目指す更生保護施設入所者等に就労支援を行って住居付き雇い入れが可能な協力雇用主への住み込み就職をさせた。</li> </ul> <p>(Ⅴ1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・犯罪をした者の特性に応じた効果的な就労支援ができるよう、名古屋保護観察所等と連携して協力雇用主の業種拡充に取り組んだ。多様な業種に協力雇用主への登録を呼びかけるチラシを、関係機関を通じて事業者へ配布する等し、これまで多数を占めていた建設業以外で19事業者が名古屋保護観察所へ新たに協力雇用主として登録された。</li> </ul> <p>(Ⅵ1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の地区協力雇用主会に講師派遣等で研修を支援したほか、21の地区協力雇用主会に組織活動に対する資金面での支援をした。</li> </ul> |
| 愛知県地域生活定着支援センター | <p>(Ⅱ2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅確保要配慮者居住支援法人との連携のため、特定の事業者とになるが、意見交換会を2回開催した。当センターで例年行っている「司法と福祉の情報交換会(啓発活動・研修)」において、国土交通省国土政策局地域振興課 課長 石井 秀明様と岡崎市福祉部ふくし相談課 副課長 寺西 京子をお招きし、居住支援をテーマに研修会を開催した。</li> </ul> <p>(Ⅲ1、Ⅴ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県福祉局福祉部地域福祉課生活保護グループから業務委託を受け、例年と同じく支援に従事してきた。</li> </ul> <p>(Ⅲ2、Ⅴ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・依存症回復治療効果のあるクリニックに受診同行し、クリニックの専門医の意見をいただき、対象者の特性に応じた支援を検討した。</li> </ul> <p>(Ⅵ1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県弁護士会における「よりよい弁護士制度」の運営に対する協力の中で、当センター対象者の「よりよい弁護士制度」の利用に関する連携等を図った。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 愛知県内地区協力雇用主会    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組は愛知県就労支援事業者機構を参照</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 愛知県社会保険労務士会     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の活動内容を当会の執行部で共有し、常任理事会、理事会及び総会で報告。また、当会のホームページで協議会の活動内容について会員に対して周知を図った。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

|                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 再非行防止サポートセンター<br>愛知 | <p>(Ⅰ1)<br/>         ・法務省矯正局、保護局と連携強化のため、再非行防止サポートセンター愛知が加盟している日本自立準備ホーム協議会として、官民意見交換を3回開催した。<br/>         ・瀬戸少年院、愛知少年院と連携し、ソフトランディングモデルの実施を実施した。また、少年が少年院在院中から顔と見える関係作りのため、ケース会議に出席したり、面会を実施し、仮退院後に相談しやすい土壌作りに取り組んだ。</p> <p>(Ⅱ1)<br/>         ・就労支援のため、名古屋保護観察所と意見交換を12回開催、名古屋市中心児童相談所と意見交換を12回開催した。就労支援を行う際に、愛知県就労支援事業者機構と連携をおこなった。障害があり本人が希望した場合に、愛知県就労支援事業者機構や相談支援事業所や就労継続支援B型事業所と連携をおこない、利用調整を行った。</p> <p>(Ⅱ2)<br/>         ・住居確保のため、名古屋保護観察所と意見交換を12回開催、名古屋市中心児童相談所と意見交換を12回開催した。全国の自立準備ホームの連携強化、住まいの選択肢を増やすために、日本自立準備ホーム協議会として、全国7つの地方において地方自立準備ホーム勉強会をそれぞれ1回ずつ開催した。障害がある場合には、保護観察所や矯正施設や愛知県地域定着支援センターやグループホームと連携をおこなった。法人で運営している自立準備ホームでの引き受けを行った。<br/>         ・県内の元犯罪仲間と縁を切るために、県外でやり直したいと希望する少年や青年がいた時に、日本自立準備ホーム協議会加盟の全国の自立準備ホーム事業者と連携をおこない、県外でのやり直しのための社会復帰支援、調整、本人との面会等に取り組んだ。</p> <p>(Ⅲ1)<br/>         ・障害のある罪を犯した人を、自立準備ホーム、グループホーム、就労継続支援B型事業所において積極的に受け入れを行った。</p> <p>(Ⅲ2)<br/>         ・薬物、性、アルコールなどの依存症がある人の支援の際に、医療機関への同行、服薬管理などを行った。</p> <p>(Ⅳ1)<br/>         ・通信制高校での学び直しを希望した際に、通信制高校と連携をおこない、入学時と在学時の支援を行った。</p> <p>(Ⅴ1)<br/>         ・対象者が矯正施設で生活しているときから、スタッフが面会と文通を重ねてきた。刑事裁判の準備として弁護士と打ち合わせなどをおこなった。<br/>         ・18歳から39歳で逮捕歴があり、家族を頼ることが難しい人が参加できる居場所「ブレイブ」を月に1回、合計6回開催し、参加した若者たちと一緒に食事作りをして、一緒に食事をしながら、楽しい時間を過ごした。<br/>         再サポ親の会「あかねこ」を12回開催した。我が子の非行、犯罪で悩んでいる家族のみが参加できて、その家族を孤独にさせないために取り組んだ。</p> <p>(Ⅵ1)<br/>         ・支援の選択肢を増やしていくために、全国の民間団体からの見学依頼を受け入れ、こちらからも積極的に行かせてもらった。</p> <p>(Ⅵ2)<br/>         ・メディア等からの取材依頼は慎重に受け、SNS等での発信もおこなった。<br/>         ・再非行防止サポートセンター愛知で以前にサポートをおこなっていた元非行少年たちに、2ヶ月に1回、正会員向けの集まりに参加してもらい、自身のライフストーリーを話してもらい、理解、協力の促進の取り組みを行った。</p> |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|